

いすま Smile

好きこそのもの・・・

▼海事関係功労者表彰を受ける宮澤さん



7月の海の日にちなみ、海事関係に貢献のあつた人をたたえる海事関係功労者表彰式典が行われました。船から海へ排出される排水をきれいにして海洋汚染防止に寄与する高性能な装置を開発し、それらが国内で最も多く採用されている装置という事で、県内で唯一、発明・考案の部で国土交通大臣表彰を受けたのが宮澤さんです。

ものづくりが大好きな父親の影響で、幼い頃から自然とものを作る事が好きになっていたという宮澤さん。夏休みの工作がいつも楽しみで、父親と一緒に夢中になつて作つていたそうです。小学6年生の時に、モーターを使つた工作をしていたところ、思いもよらず踊るような動きをした事から踊る人形を作り、全日本学生児童発明くふう展で入選した事もありました。

東京の工業大学を卒業後、父親から自分の好きなものづくりや開発を仕事にできる会社があると勧められ、地元へ戻り、現在の製造会社へ就職しました。そこでさまざまな製品開発に携わるようになります。自己満足ではなく、実際に使用者に満足してもらえる、使いやすくていいものにす

べく開発を進めています。それが、船から海へ排出される排水をきれいにして海洋汚染防止に寄与する高性能な装置を開発し、それらが国内で最も多く採用されている装置という事で、県内で唯一、発明・考案の部で国土交通大臣表彰を受けたのが宮澤さんです。

ものづくりが大好きな父親の影響で、幼い頃から自然とものを作る事が好きになっていたという宮澤さん。夏休みの工作がいつも楽しみで、父親と一緒に夢中になつて作つていたそうです。小学6年生の時に、モーターを使つた工作をしていたところ、思いもよらず踊るような動きをした事から踊る人形を作り、全日本学生児童発明くふう展で入選した事もありました。

「今までにない新しいもの、今あるものでもより良くなるものを考えること、また実際に製作して思い通りの性能になるかを確認する一連の作業が好きです」と話してくれた宮澤さん。一見、開発一筋で真面目な人に見えますが、趣味はバンド活動でボーカルを務めるという意外な一面も。

「呼ばれればどこでも演奏します。お客様に喜んでもらうよう工夫するのには開発も音楽も同じですね」

そんな宮澤さんにこれからのお客さんに喜んでもらうよう工夫するのを見ると、「会社の柱となる新しい商品を創出していきたいです」と、力強く答えてくれました。



▲全日本学生児童発明くふう展での入賞の賞状・盾と



▲友人と組んでいるロックバンドでイベントに出演する宮澤さん(中央)

Vol.65

宮澤 和規さん
(周東町在住)

平成15年に海事関係功労者表彰の発明・考案で中国運輸局長表彰、平成19年にもものづくり日本大賞中国経済産業局長表彰、今年7月に国土交通大臣表彰を受ける。

